

## 小学校第2学年 図画工作科学習指導案

日時 平成25年6月27日(木) 2校時

指導者 教育センター所員 熊本 由美子

### 1 題材 「こんなお店があったらいいな・・・2の3ショップへいらっしやい」

#### 2 題材について

- 平成20年3月に示された学習指導要領では、指導計画の作成と内容の取扱いにおいて、「工作に表すことの内容に相当する授業時数が、絵や立体に表すことの内容に相当する授業時数とおおよそ等しくなるように計画すること」が記されている。児童が手や体全体を働かせてものをつくることで、技術の習得だけでなく、よさや美しさを大切にする気持ち、自主的に工夫や改善に取り組む態度を育てることができることから示された事項である。

本題材は、ティッシュペーパーの箱の中に、水彩絵の具やパスを使ってできる様々な技法を試しながら、自分の写真も入れた「お店」を表現し、最後に個人の作品を持ち寄って組み合わせ、2の3ショップとして楽しむ題材である。「こんなお店があったらいいな。」「将来ケーキ屋さんになりたいな。」と思いをめぐらすことは、児童にとってとても楽しいことである。その際、様々な表し方を試しながら多様な表現ができれば、児童の思いはますます広がっていくだろう。自分が表したい「お店」のために、いろいろな材料を選び、試み、つくる過程の中で、更に形や色から発想し、思いを膨らませ、表現することができる考える。そして、これまで取り組んだことがない水彩絵の具やパスを使ってできる様々な技法(スクラッチ、ローラー、スタンピング等)を児童に体験させることは、学習指導要領で新設された〔共通事項〕に記されている形や色などの造形的な特徴を捉えさせる上で大切なことである。また、児童の表現の幅を広げる上でも重要なことである。これまで、個人製作の経験がほとんどだった児童が、全校のみんなを楽しませる作品をつくるという共通の目的をもてば、「この色だときれいだなと思ってくれるかな。」「どんな形が面白いかな。」など期待や思いを膨らませるであろう。また、「お店」の中に自分を入れることで、自分らしさを大切にして発想を膨らませることもできる。ティッシュペーパーの箱を始めとした身近な材料を自分の手で楽しめる作品に変えていくことで、造形的な資質や能力を伸ばすことができると考え、本題材を設定した。

- 低学年の児童は、かいたりつくったりする活動そのものを楽しむ傾向がある。また、活動を進めながら表したいことを見付けることが多い。したがって、児童が好きな色を選んだり、納得するまでつくり直したりできるような柔軟な対応が必要になってくる。

本学級の児童25名を対象に実施した意識調査で、17名の児童が「工作が好き」、8名の児童が「工作がどちらかといえば好き」と回答している。また、これからの図画工作科の学習でもっとやってみたいこととして、「道具を上手に使えるようになりたい」が72%と一番多く、次いで「たくさんものをつくりたい」が64%だった。児童が好きな工作題材を取り扱うことで、児童は意欲的に活動できると思われる。さらに、「友達からアドバイスをもらったので、つくることがうまくなった」と回答した児童は、76%だった。児童が、自信をもってつくったり、友達の活動からヒントを得たりすることができるように、友達との交流活動の場が必要であると考え。また、児童が材料や用具に主体的に関わりながら様々な表現方法を試す場を設定することで、児童は納得いくまでつくるなど自分の思いに合った活動をすることができるであろう。

- 指導に当たっては、学校の玄関ホールに作品を飾ってもらうことを伝え、「2の3の作品でみんなを楽しませよう。」と投げ掛け、児童の意欲を喚起したい。絵の具やパスを使ってできる様々な

技法や貼り絵等の技法を紹介する際は、実演したり参考作品を提示したりしながら、児童に「早くやってみよう」という思いをもたせるようにする。そして、それらの方法を存分に楽しむ時間を「ひらめきタイム」として位置付け、その手助けとなる材料・用具コーナー（ひらめきコーナー）を充実させ、児童がイメージに合う材料・用具を選択できるようにしたい。また、学習カードを準備し、児童が意欲的に活動できるよう支援したい。学習カードには、アイデアスケッチや準備する物を記入するスペースを設ける。そのことによって、児童が見通しをもって活動できると考える。そして、児童が困ったことを記入する「お助けカード」や友達のよさを記入する「ほめほめカード」などを活用して、児童が自信をもって表現できるようにしたい。さらに、製作過程に友達との交流活動を取り入れることによって、児童の発想を広げさせたい。製作過程に、形や色などの造形的な特徴を視点とした話し合い活動を「きらりタイム」として取り入れる。「きらりタイム」では、互いの感じ方や表現のよさを認め合わせたり、いろいろな表現があることに気付かせたりして、児童が自分の表現に生かせるようにしたい。

### 3 題材の目標

- 「箱」を使った立体的な表現に興味をもち、材料の特徴を生かしながら、自分の思いに合った「お店」をつくる。

### 4 題材の評価規準

造形への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
①立体的な表現や水彩絵の具、パスなどを使った様々な表現方法に興味をもち、自分の店をつくることを楽しもうとしている。	①店のイメージを膨らませ、材料、用具、表現方法など表したいことを考えている。 ②グループでの話し合いを手掛かりにして、材料、用具、表現方法などを新たに思い付いている。	①自分の表したい店に合わせて材料、用具などを使い、箱の使い方や飾り方などを工夫している。 ②自分や友達の作品の表現方法や材料の使い方などの工夫を見付け、自分の製作に生かして、工夫して表している。	①自分や友達の作品を見合って、工夫したところやよさに気付いている。

### 5 題材の指導計画と評価規準(全7時間)

次	時間	学習活動	教師の指導・支援	評価規準と評価方法
1	1	1 どんな店にするか考え、アイデアスケッチをする。	○ 店の写真や参考作品を提示し、製作の見通しをもたせる。 ○ ワークシートにアイデアスケッチをさせ、表したい店を具体的に構想できるようにする。	・ 店のイメージを膨らませ、材料、用具、表現方法など表したいことを考えている。(発想・構想①)【観察・ワークシー

	2	2 各自のアイデアスケッチについてグループで意見交換し、店の構想を深める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ アイデアスケッチについて、形や色、イメージなどの視点で意見交換させ、児童の発想が広がるようにする。</li> <li>○ 司会マニュアルを準備し、グループの話合いがスムーズに進行できるようにする。</li> <li>○ グループの話合いを通して、新たに思い付いたことをアイデアスケッチに付け加えるように促す。</li> </ul>	<p>ト】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ グループでの話合いを手掛かりにして、材料、用具、表現方法などを新たに思い付いている。(発想・構想②)【観察・ワークシート】</li> </ul>
2	3	1 店の基本形をつくる。 2 いろいろな表現方法を試しながら、店のパーツをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 取り出し口を切り開き、底に厚めの紙を貼って補強させる。</li> <li>○ 提示した参考作品に、どのような表現技法が使われているか考えさせ、様々な技法に興味をもたせる。</li> <li>○ 自分のイメージに合った表現方法を試し、店のパーツをつくることを確認する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 立体的な表現や水彩絵の具、パスなどを使った様々な表現方法に興味をもち、自分の店をつくることを楽しもうとしている。(関・意・態)【観察・作品・ワークシート】</li> </ul>
	4 ・ 5 本時 5/7 ・ 6	3 グループでの話合いを手掛かりにして、新たに思い付いたことを試しながら、自分の店をつくる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ これまでの製作で工夫したこと、困っていることを形や色、イメージなどの視点で出し合わせ、児童の発想の広がりを助ける。</li> <li>○ 箱にパーツを並べて、位置関係等を考えてつくるように促す。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分の表したい店に合わせて材料、用具などを使い、箱の使い方や飾り方などを工夫している。(技能①)【作品・ワークシート・観察】</li> <li>・ 自分や友達の子の表現方法や材料の使い方などの工夫を見付け、自分の製作に生かして、工夫して表している。(技能②)【作品・ワークシート・観察】</li> </ul>
3	7	1 完成した作品を並べ、遊びながら見合う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形や色、イメージという視点を示し、並べ方を考えさせる。</li> <li>○ 友達の工夫したところやよさに気付くことができるように、形や色、イメ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自分や友達の子の作品を見合っ、工夫したところやよさに気付いてい</li> </ul>

			ージなどの視点で鑑賞することを確認する。	る。(鑑賞)【観察・ワークシート・作品】
--	--	--	----------------------	----------------------

## 6 準備

【教師】画用紙，色画用紙，折り紙，ボール紙，モール，空き箱，針金，カッター，ホチキス，セロハンテープ，カラーテープ，木工ボンド，共同絵の具，ローラー，トレイ，タンポなど

【児童】ティッシュペーパーの箱，自分で探してきた材料，絵の具道具，パス

## 7 本時の目標(第5時)

- グループでの交流を手掛かりにして、新たに思い付いた方法を試しながら自分の店をつくること  
ができる。〈創造的な技能〉

## 8 本時の展開

過程	学 習 活 動	教師の働きかけ・評価(◎：Aの判定基準 ○：Bの判定基準 ●：Cへの支援)	準備
導 入	1 前時までを振り返り、 本時のめあてを確認する。	・ 前時の気づきを紹介して称賛し、本時の活 動への意欲をもたせる。	
展 開	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">                     じぶんのお店のイメージにあうほうほうをつかって、お店をつくろう。                 </div> 2 「きらりタイム」で友 達の作品を見合い、製作 への見通しをもつ。 (きらりタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 工夫したことを紹介したり、困っているこ とを相談してアドバイスをもらったりして、 製作への意欲付けを図る。</li> <li>・ 話し合いは、下記の視点で行わせ、児童の発 想が広がるようにする。 ①形 ②色 ③イメージ</li> <li>・ これまでの活動を称賛し、自分の店の様子 がよく伝わるような工夫をすることを知らせ る。</li> </ul>	視点カード
	3 いろいろな表現方法を 試しながら、自分のイメ ージに合う表現を追求す る。 (ひらめきタイム)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 試した表現を自分の店づくりに生かすこと を確認する。</li> <li>・ 自分の店にぴったり合う方法を使うことを 確かめる。</li> <li>・ ティッシュペーパーの箱にパーツを並べ て、大小、位置関係、配色のバランス、背景 との関係等を考えてつくるように促す。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;"><b>【創造的な技能】</b></p> <p>◎ 見付けたよさやアドバイスを生かして、 自分の店のイメージに合う新たな表現方法 を見付け、工夫して製作している。</p> <p>○ 見付けたよさやアドバイスを生かして、 自分の店のイメージに合う表現を工夫して いる。</p> <p>→いろいろな方法を使った作品を紹介し、 新たな表現方法に興味をもたせる。 (観察、作品、ワークシート)</p> </div>	
		<ul style="list-style-type: none"> <li>● 友達の活動を参考にさせたり、参考作品を 見せたりして、表現の工夫に興味をもたせる。</li> <li>・ 一人一人の活動を共感的に認めながら、一 緒に活動して表現を工夫する楽しさを感じ取 らせる。また、児童の思いを大切にした助言 をして製作への意欲を高める。</li> </ul>	参考作品

ま と め	<p>4 本時の活動を振り返る。</p> <p>5 次時の学習内容を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表現方法の効果を確かめることができるように、作品を少し離れた所から見るように助言する。</li> <li>・ めあてが達成できたか自己評価をさせる。また、活動でよかったことや困ったこと等を記入させて、次時の学習への意欲付けを図る。</li> <li>・ 次時は、個人の作品を完成させることを知らせる。</li> </ul>	ワークシート
-------------	---	--	--------